

「パットウォール・Dウォール」 軽量で高い強度を有する化粧付埋設型枠

1. 技術（工法）の概要

コンクリート工事は近年、熟練工不足とコスト縮減対策が課題となり、作業の効率化、簡易化が求められている。「パットウォール・Dウォール」は、コンクリート打設後に取り外す必要の無いコンクリート型枠である。システム化された製品・工法は、特別な技能は必要とせず、誰にでも容易かつ短時間で施工が可能であり、このことにより工期を短縮し、工事費用の圧縮を可能にする。

従来工法では、合板型枠が一般的であるが、コンクリート打設後に脱型作業が必要なこと、脱型した型枠の廃材処理の問題など、作業効率や環境面への課題がある。

「パットウォール・Dウォール」は、従来工法の課題を改善し、高強度化、軽量化により、人力で容易に施工ができる埋設（残存）型枠である。



施工例：砂防堰堤



施工例：道路擁壁

2. 技術（工法）の特徴

(1) 施工性

狭険地においても、揚重機を用いることなく人力のみにより容易に組立作業が実施できる。

(2) 強度特性

コンクリート打設時において、打設高さ 1.5m の側圧に耐える強度を有している。

(3) 一体性

製品裏面にくぼみを設けることにより附着面積が大きく取れ、現場打ちコンクリートと一体化するため、落石、巨礫の衝撃を受けても現場打ちコンクリートから剥離しづらい構造となる。

(4) 耐凍結融解性

「パットウォール・Dウォール」は凍結融解試験において、現場打ちコンクリートと同等以上の耐凍結融解性を有していることが確認されている。

(5) 景観性

周囲の景観に合わせた模様または色彩の選定が可能である。

表面の意匠と6以下に抑えた明度は、周囲の景観に調和する。

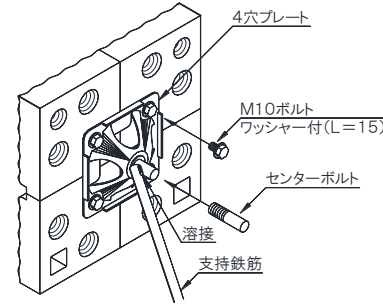
(公益社団法人 全国土木コンクリートブロック協会 全協明証第 1024 号 平均明度：4.0)

3. 技術（工法）の適用、用途

主に砂防えん堤（砂防ダム）、擁壁、橋台、トンネル坑口部等のコンクリート構造物の表面意匠が要求される型枠に適用する。繰り返し荷重を受けるような梁部材や薄肉の床版等に使用する場合は別途、曲げ疲労試験等で詳細に検討する必要がある。

4. 製品

取付方法



製品構成



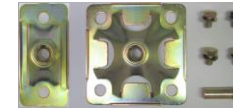
石積み



フラット



小端積み



専用接続金物

製品サイズ W:500×H:500×t:30~40
(基本厚 30 mm化粧の厚さ 0~10mm を含む)

5. 施工手順



1. 基礎コンクリート

基礎コンクリートを打設、アンカー筋をセットする。



2. 型枠の組み立て

適正な高さまで型枠を組立てる。専用接続金物をセットし支持鉄筋にて溶接固定する。



3. コンクリートの打設

型枠等に損傷を与えない様に打設する。裏面凹部に充填するように十分締め固める。

※1.に戻り同様に繰り返して施工する。
次段に備えてアンカー筋をセットしておく。

6. 技術保有会社および連絡先

住理工商事株式会社

問合せ先：技術課

TEL：052-951-5891

FAX：052-951-5892

Email：kenji.mori@jp.sumiriko.com

HP：<http://www.corp.sumiriko.co.jp>

7. 審査証明年月日

2006年2月9日

2011年2月9日 更新

2016年2月9日 内容変更・更新

2021年2月9日 内容変更・更新